

授業科目 レクリエーション指導法

【担当教員名】 小林敬子	対象学年	1	対象学科	全科共通
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【概要及び学習目標】

概要

レクリエーション指導論で学んだ基礎的理論を土台として、レクリエーション援助のための指導方法やレクリエーション計画の作成を実践的・体験的に学ばせ福祉や医療の現場でのレクリエーションの利用や応用が可能となる知識と技術を習得させる。

学習目標

- 1 レクリエーション財に間する基本的な知識を持つ。
- 2 レク援助技術の基本を身に付ける。
- 3 利用者との信頼関係を築くためのコミュニケーション力を育てる。
- 4 レクリエーションの活動計画が立てられる。

回数	学 習 の 主 題	学 習 内 容	学習方法
1 ～ 5	福祉・医療分野でのレク援助の実際	1 集団を介したレク援助に適したレク財の内容と展開法について学ぶ (うた・ゲーム・体操などを用いて) 2 個別的なレク援助に適したレク財の内容と展開法について学ぶ。 (うた・会話・マッサージなどを用いて)	講義と実習
6 7	レク援助者の資質と役割について	レク援助を行う際の、利用者とのコミュニケーションの大切さについて学ぶ。 コミュニケーション・ワークを通して、自己理解と他者理解について認識を深める。	講義 実習
8 9	レクリエーション計画のすすめ方	レクリエーション活動のプログラミングについて作業を通して学ぶ。	実習
10	レクリエーション指導演習	状況に応じたレク援助についてグループ毎に実際に行ってもらい、評価をし合う。	演習
11 12	身近な素材を用いたレク活動	紙やピン・缶など身近にある素材を使ったレク活動の展開について学ぶ。	実習
13 14	様々な場に応じたレク援助の展開法	病院・老人福祉施設・デイサービス施設・在宅訪問介護等におけるレク援助の現状について知り、問題点を探る。	講義と演習
15	レクリエーションの可能性について	まとめ	講義

【評価方法】

出席・実習の態度・レポート・定期試験等から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

出席や授業中の態度（積極性）を重視する。  
動きやすい服装で出席すること。

【使用図書】

教科書・参考書別	書 名	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	レクリエーション活動救助法 (介護福祉士養成講座⑥)	福祉士養成講座編集委員会編	中央法規	2001発行改訂版 2,200円